

茶道部

◆活動方針

日本の伝統文化である『茶道』は、単に喉の渇きを癒すためだけではなく、芸術、哲学、社交などの要素を含んだ総合文化です。また、そこに込められているものを究め、自らの人格を律し、精神性を高めるという創造活動でもあります。

週1回、裏千家の先生をお招きして行う定例のお稽古、年1回の高校文化祭への参加、2年に1回の文化祭での活動が主な内容になります。

物の豊かさから心の豊かさへと移りゆく時勢の中にあって、礼儀・作法の大切さを知り、繰り返しながら身に付けていくことで、自然と人に対する思いやりや感謝の気持ちが育まれていきます。こうして身に付けた素養は、将来社会人となった時に、人と接するマナー、思いやり、基本の大切さといった面でよい影響を与えてくれると思います。



◆部長の声

茶道を大成された千利休が残された言葉があります。

『稽古とは一より習ひ十を知り 十よりかへるもとのその一』

この精神は、茶道ばかりでなく、どのような部活動にも当てはまるのではないのでしょうか。

やってみたいけれど難しそう、正座で足が痛くなりそうなど、敷居が高いイメージがあると思いますが、初めは皆初心者です。現在部員は9名ですが、家庭的な雰囲気の中、真剣に、時に和やかにお稽古に励んでいます。一度は経験しておくで将来必ず役に立ちます。是非、家庭科棟の和室に足を運んでください。一緒に頑張りましょう。

◆活動案内

- 週1回、裏千家の先生をお招きして行う定例のお稽古
- 年1回の高校文化祭への参加
- 2年に1回の文化祭での活動

